東日本旅客鉄道労働組合 東京地方本部　East Japan Railway Workers Union・TOKYO Regional headquarters　東京地本ＨＰ

JREU TOKYO
業務部速報

2025.06.15 No.087

発行：ＪＲ東労組東京地本 業務部

東地申第10号
「2024年度営業関係施策（その2）について」及び「2024年度営業関係施策（その3）について」団体交渉を行いました③

【上野駅】

7．ホーム体制見直しができると判断した根拠はなにか示すこと。

【回答】車掌用 ITV の整備により車掌の視認性が確保され、乗降終了表示の省略が可能となることから、お客さまのご利用状況等も踏まえたうえで体制の見直しを行うものである。

8．ホーム体制見直し後の駅全体の体制について具体的に示すこと。

【回答】「2024年度営業関係施策（その2）について」で示したとおりである。

9．異常時発生時のフローについて具体的に示すこと。

【回答】異常時においては、箇所総体で対応することとなる。

10.車内貫通業務の動きについて具体的に示すこと。

【回答】車内貫通業務の具体的な動きは作業ダイヤで示すことになる。

（会）上野駅はUT（上野東京ライン）の折り返しとして重要な駅（輸送拠点駅）である。
　輸送の体制が集約される第4ホームには常時4人。信号所との連携が取れる。駅内の無線はバディコムを活用。
（組）6番線東京方の 15 両用 ITV が車掌位置から遠い。
（会）車掌窓から5m以内という設置基準はクリアしている。日差しカバーをつけてより視認性を確保している。
　異常時や通対時（〇〇時から〇〇時まで）などは現場判断で乗降終了表示の掲出は可能。 確認
（組）終電帯（終接の方法）の動きに関してはどうか。
（会）第4ホームから移動して対応する
（組）異常時に管理者不在時の場合とホットラインの設置箇所はどこか
（会）ホットラインは内勤にあり、異常時発生時は輸送副長がホットライン持って対応する。
　輸送副長は遅番のため初電帯の場合は起こすことになる。 確認
（組）人身事故対応マニュアルが 1/1 に改訂されたが現場で内容周知されているのか
（会）人身事故対応マニュアルの改訂（1/1 実施）に関しての教育状況は把握していく。
　改定内容の「現地責任者」「作業責任者」の視覚化」に関しては課題である。 確認
（組）急遽の折り返しや異常時での分離運転時の貫通業務は誰がやるのか。その際の委託社員への情報提供は。
（会）セントラル警備が行う貫通業務は列番指定。異常時は駅社員とするが状況によっては信号所や内勤からの指示によりセントラル警備がやる場合もある。 確認

「体制見直し後も信号所・第４ホーム地平ホームに輸送社員が常駐しているから輸送の安定性は維持される」ことを確認！施策によって安全が疎かになっていないか検証していきましょう！